

【活動支援メニュー情報】

- ◎ 令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しくー北海道ネットワーク）
- ◎ 令和7年度 まちづくり推進活動支援事業（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）
- ◎ 農山漁村の案内に役立つ［便利帳］（北海道農政部）
- ◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）
 - ・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について
- ◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ JR北海道車内誌「The JR Hokkaido」7月号の掲載情報

JR北海道車内誌には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。7月号では、第11回コンクールでNPO特別賞を受賞した「網走市豊郷神楽保存会」（網走市）について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

JR北海道HPからJR北海道車内誌（最新号）の電子ブックがご覧いただけます。

（HPトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択）

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「網走市豊郷神楽保存会」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa000001kekd.pdf

◎ 広報誌「開発こうほう」7月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく

ー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。7月号では第6回コンクールで奨励賞を受賞した「**当別町亜麻生産組合**」（**当別町**）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「**当別町亜麻生産組合**」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/06/dantai1/6106.html>

【わが村コラム】

今回は、訓子府町にある「**株式会社菅野養蜂場**」（第11回コンクール参加団体）さんの店舗にお伺いし、菅野養蜂場の4代目となる菅野裕隆さんに「**はちみつの製造・販売等**」に関して、直接お話をお聞きしましたので、ここにご紹介させていただきます。



店舗 外観

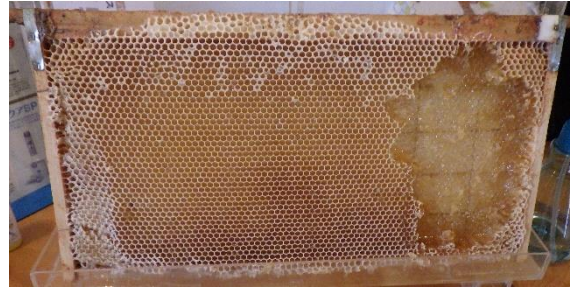
「株式会社菅野養蜂場」は、初代が大正時代に北海道に入植し、昭和9年から養蜂を始め、現在まで4代にわたって養蜂業を営んでいます。養蜂を始めた当初は、はちみつを甘味料として販売する生業から始めましたが、3代目に変わりはちみつの納品先である卸問屋が廉価に扱っていることにショックを受け、その後、オホーツクの自然豊かな花々を生かしたはちみつを現在のような自

社販売に経営変更したのが平成元年頃とのことでした。

はちみつの生産は、ミツバチの伝染病である腐蛆（ふそ）病〔※幼虫（蛆）が細菌に感染して腐る伝染病〕を抑制するため、一般的に抗生物質を使う慣行がありますが、ある大学の先生から「食品を売るのであれば、生産者が安全な食べ物を意識して作らないといけない」との助言を

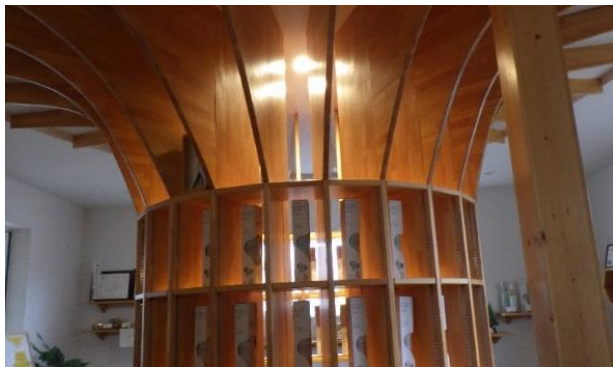
受け、「薬等を極力少なくしてミツバチを育て、安全なはちみつを作る」との考えに至ったそうです。

そこで、平成10年から抗生物質の使用を取りやめ、まずは巣箱の点検を徹底することから始めました。また、感染で弱った蜂を焼却することで病気の



蜂の巣

蔓延を防ぐこととしましたが、最初の年は影響が特に大きく40～50箱を焼却することとなり、大きな損失となりました。このような努力を重ねた結果、3年程かけて病気に強いミツバチを育てることができました。巣1枚1枚に薬を噴霧する従来の手間がなくなったことで、薬の使用による労力の削減とコストも抑えられる効果も生まれました。この成果は「何が蜂にとって良いことなのか」を代々にわたって考え、取り組んできた証だと話してくれました。



店内の様子

－中央に設置された木工の陳列棚－
ミードがおしゃれに展示されています



店内の様子

木工のこだわりの陳列棚がブランド志向を高めています

次に店舗についてですが、店内の様子は、おしゃれな木工の陳列棚が中央に配置されており、ただ今“推し”中のミード（はちみつのお酒）があたかも博物館のように整然と気品高く置かれています。商品もそうですが、店内にはこだわりが詰まった造形の展示棚が配置され、訪れた方を魅了する工夫が随所に見られます。

主力商品の“はちみつのお酒（ミード）”はあまり馴染みがないかもしれませんが、ミード（mead）とは、人類最古の甘味料を使ったお酒のことであり、一説によると古代エジプトの古王朝時代（第5王朝、紀元前2500年頃）、ス

ネフェル王の墓などから見つかっているとの報告もあるようで、少なくとも8～11世紀に活躍していたバイキングの間では「栄光の飲み物」として扱われ、また、中世ヨーロッパでは王侯貴

族が祝祭の際にミードを振る舞う文化がありました。このことから、4代目の裕隆さんがハネムーンの語源にもなっているミード（はちみつ酒）を結婚式等の祝いにふさわしいパッケージにリニューアルし、北海道ブランドとして道内の酒造会社である小樽の田中酒造と協業し、こだわりの逸品が出来上がりました。



ミード（はちみつ酒）
—ピンクの包装がおしゃれ—

取材後に筆者はこのミードを購入して、本商品を女性の同僚に見せたところ「ピンクがかわいい！！」と思った以上の好反応があり、パッケージの変更は間違いなく女性の心を捉えているようでした。

はちみつの製品ではそのほかに、“はちみつの石けん”や“はちみつ配合バスソルト”なども取り扱っています。ところで筆者もそうですが、素人目線で「花の違いによってはちみつの味などに大きな差があるものなのか」とざっくばらんに伺ってみたところ、ミツバチが蜜を集めた花によって、味や風味が大きく違ってきます。各々の花の開花時期に合わせて蜜の生産をすることで労力の平準化も図られ個性も出すことができますとお答えくださいました。現在商品ラインナップとして、「さくら」「百花（ひゃっか）」「くろーばー」「たんぽぽ」「ぼだいじゅ」「あかしあ」などを取り揃えています。一般の方にはアカシアや菩提



はちみつ各種商品

樹の花が咲く時期のはちみつを特にお勧めしますが、ホテルの一流シェフからは別の需要があり、ジビエ料理などにはタンポポのはちみつやスパイシーな風味の百花蜜がとても相性が良いとのことから、プロからの注文が増えていることから今後はこのような需要も増やしたいとのことでした。

はちみつの各種商品は、訓子府町の店舗のほか、ホームページの通信販売でも購入できますが、店内はセンスあふれる素敵な展示スペースとなっていますので、お近くにお越しの際は是非

一度、店舗にて高品質な菅野養蜂場のこだわりを感じていただければと思います。

【株式会社 菅野養蜂場（店舗）】

- ・ 住 所：北海道常呂郡訓子府町仲町34番地
- ・ 営業時間：9：00～16：00（月曜定休日）
- ・ H P：<https://honeyfarm-kanno.com/>（HPにて通信販売しています）
- ・ Facebook：<https://facebook.com/kannohoneyfarm>



筆者が購入したミード

【わが村団体活動情報】

◎“シラフラ”のあるまち「観るべ！食うべ！おとべマーケット」開催！（乙部町）

＜わが村団体名：おとべ創生株式会社＞

今年も乙部町の観光PRと物産品の販売を行う「観るべ！食うべ！おとべマーケット」を札幌で開催します。

乙部町の魅力の一つである滝瀬海岸は、古くから「白い傾斜地」を意味する“シラフラ”と呼ばれて親しまれており、白い断崖が500mにも渡り連なる異国情緒漂う光景は、イギリスのセブンシスターズを思わせる絶景とも言われています。そんな自然あふれる乙部町でしか栽培されていない大豆「大莢白乙女（おおさやしろおとめ）」、栄養たっぷり「黒千石大豆」を使用した商

2025年
7/1 火
11:00-18:30
7/2 水
10:00-18:30

シラフラのあるまち
**観るべ！食うべ！
おとべマーケット**

行きたい「まち」が、みつかる。
観光と物産フェア

7/1～2は
乙部町の特産品を
使ったメニューが
ホテルパルスター札幌の
ランデブーに登場！
(1F 2000名 収容可能)

れん・りー

北海道でもマニアックな町「乙部町」の観てほしい！食べてほしいものを紹介＆販売いたします！乙部町でしか栽培されていない大豆「大莢白乙女（おおさやしろおとめ）」、栄養たっぷり「黒千石大豆」を使用した商品やクラフトビール、ラーメンなどを販売します！また、乙部町の観てほしいスポットを手書きのパネルで展示いたしますので、見ていただけると嬉しいです。

販売品目 ※出品品目は予告なく変更になる場合があります。※売切れの場合はご容赦ください。

クラフトビール OTOBBEAN
しおとんごつラーメン
黒千石アイス
ゆでだこ
いさりび漬
乙女のきな粉

乙部町の魅力
乙部町は渡島半島西部の日本海に面した人口約3,100人の小さな町です。GLAYのTERUさんとTAKUROさんが来たことでも話題になった東洋のセブンシスターズ「滝瀬海岸（シラフラ）」や東洋のグランドキャニオン「館の岬」、北海道の天然記念物にも選定されている「鮎（しび）の岬」など魅力的な海岸線が広がっています。また、環境省の快水浴場百選に選定された唯一選ばれた元和台海浜公園「海のプール」はバリアフリー対応の海水浴場です。

観光スポット
元和台海浜公園（海のプール）
7月26日 OPEN 予定
【お問い合わせ】
乙部町役場産業課商工労働観光係
0139-62-2871

会場
ホテルパルスター札幌
1F 屋外特設会場
（札幌市中央区北4条西6丁目）

主催：乙部町 協賛：おとべ創生株式会社 / 北海道パルスターサービス株式会社
お問い合わせ 乙部町役場産業課商工労働観光係 TEL 0139-62-2871（受付時間 平日 8:30-17:15）

品等を販売します！また、乙部町の観てほしいスポットを手書きのパネルで展示しますので、ぜひお立ち寄りください。

【開催日時】 7月1日（火） 11：00～18：30

7月2日（水） 10：00～18：30

【会場】 ホテルポールスター札幌 1F 屋外特設会場（札幌市中央区北4条西6丁目）

【お問合せ】 TEL：0139-62-2871（乙部町産業課商工労働観光係（平日8:30～17:15））

【HP】 <https://www.otobesousei.com/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100063684781585#>

◎「浜の母ちゃんごっこ市」開催のお知らせ！（羅臼町）

<わが村団体名：羅臼漁業協同組合女性部>

羅臼漁業協同組合女性部では、羅臼町内で水揚げされる魚介類の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、「浜の母ちゃんごっこ市」を開催しています。今年は6月7日（土）を皮切りに5回の開催を予定しており、次回は7月5日（土）に開催します。

開催当日は、地場産の新鮮なお魚のほか、女性部の「浜の母ちゃん」手作りによる様々な魚介類の加工品などを販売しますので、ぜひ、お立ち寄りください。



【開催月日】 7月5日（土）、8月2日（土）、10月11日（土）、11月22日（土）

（※6月7日（土）開催は終了しました）

【開催時間】 13：30～ ※ なくなり次第終了となります。

【開催場所】 羅臼漁業協同組合1階（目梨郡羅臼町船見町2-13）

【お問合せ】 羅臼漁業協同組合 TEL：0153-87-2131

※開催日程や開催場所が変更となる場合がありますので、事前にお問合せ先などでご確認ください。



◎第18回『亜麻まつり i n 当別』開催！！（当別町）

＜わが村団体名：当別町亜麻生産組合＞

北海道での亜麻栽培は、明治初期に北海道開拓使の榎本武揚が繊維用として導入したのが始まりで、その後盛んに栽培されていました。昭和になると化学繊維の台頭により衰退し、昭和40年代には亜麻の栽培は姿を消しました。そんな中、現在は健康食品として注目されている亜麻の種から抽出される植物油（亜麻仁油）に着目し、もう一度北海道で亜麻産業を復活させるための取り組みを2001年より始め、栽培に協力してくれる農家さんと試験栽培を繰り返して農薬を使わない栽培方法をやっとの思いで確立し、初夏に薄紫色の花を咲かせる亜麻畑が当別町で見事に復活しました。

2025年7月6日(日)
7:00 ~13:30
場所：旧東郷小学校 石狩部当別町東郷2796-1

第18回 北海道
亜麻まつり
in 当別

初夏、亜麻の花がそよぐ当別町へ
よみがえった風景が、静かに心を満たします

■ 亜麻畑見学会：会場と畑をつなぐバス運行
■ 亜麻の展示：亜麻の特徴と歴史を紹介
■ 亜麻フォト展示：コンテスト入賞作品を展示
■ 歌唄コンクール：「亜麻色の髪の乙女」
■ 体験コーナー：リネン採取糸紡ぎ
■ 販売コーナー：宿根亜麻の茎と亜麻製品

イラスト：まき・フランキー

主催：当別町まちづくり委員会 ● 後援：当別町、当別町観光協会、札幌開発建設局、北海道庁経済局、札幌市、JRA北海道
● 協力：農林工務部、あさひ農産物販売会、AMAサポーターズ倶楽部、亜麻のふるさと当別活性化協議会

無料送迎バスを
早朝より運行します
お問い合せ【平日9:00~17:00】 亜麻公社 0133-25-3730 当別町観光協会 0133-27-5381

今年で18回目を迎える『亜麻まつり』では、会場となる旧東裏小学校と亜麻畑を結ぶ無料バスが運行される「亜麻畑の見学会」をはじめ、亜麻を使った「リネン採取&糸紡ぎの体験」や「亜麻色の髪の乙女」歌唱コンクールのほか、宿根亜麻の苗や亜麻製品などの販売コーナー、亜麻フォトコンテスト入賞作品や亜麻の歴史などを紹介する展示コーナー、地場産野菜や加工食品、軽食などの地元出店ブースなど盛りだくさんです。

また、亜麻まつりの開催と同時に、当別町と札幌市のお店で亜麻仁油や焙煎“亜麻の実”を使った限定メニューを提供する『亜麻カフェ 2025』も開催します。亜麻の景観を楽しんだ後は、亜麻カフェでゆっくりお過ごしください。

亜麻の花は、7月上旬から中旬までの2～3週間、朝に咲き昼頃には散ってしまう儂い花です。初夏のこの時期にしか見ることの出来ない薄紫色に色づく亜麻畑が皆さまのご来場をお待ちしています。

【開催日時】 令和7年7月6日（日） 7：00～13：30

【開催会場】 旧東裏小学校（石狩郡当別町東裏2796-1）

【お問合せ】 （有）亜麻公社 TEL 0133-25-3730

当別町観光協会事務局 TEL 0133-27-5381（いずれも平日9:00～17:00まで）

【HP】 <https://amakousya.co.jp/region/region-2731/>

※『亜麻まつり』の詳細は↑こちらよりご確認ください。



【送迎バス】 JR当別駅と会場を結ぶ無料送迎バスを早朝より運行

《バスルート》 JR当別駅南口 ⇄ 旧東裏小学校 ⇄ 亜麻畑（循環運行）

※『亜麻カフェ 2025』の参加店舗や提供メニューについての詳細は、

(有)亜麻公社HP (<https://amakousya.co.jp/>) にてご確認ください。

◎「La mikka (ラ・ミッカ)」開催！！（真狩村）

<わが村団体名：北海道真狩高等学校>

真狩高校では、自分たちで育てた野菜や村で採れた野菜を使って、野菜製菓コースの生徒が作ったお菓子等の販売会「La mikka (ラ・ミッカ)」を道の駅などで開催しています。今年度は5月30日(金)を皮切りに3月まで計8回の開催を予定しており、次回は7月11日(金)に開催します。



季節に合わせたスイーツやパンを用意してお待ちしていますので、是非お越しください。

【開催月日】 7月11日(金)、9月 7日(日)、10月24日(金)、12月24日(水)
2月 6日(金)、3月13日(金) (※5/20、6/20 開催は終了)

【開催時間】 11:00～13:00

【開催場所】 道の駅「真狩フラワーセンター」
(虻田郡真狩村字光 8-3)

※ 9月7日(日)のみ真狩村の秋の一大イベント「ほくほく祭り」の開催に合わせ、真狩高校にて開催します。



【お問合せ】 北海道真狩高等学校 TEL：0136-45-2357

【HP】 <https://makkari-hs.com/top>



◎「フラワーロード」の花ユリ、見頃は8月中旬です！（真狩村）

<わが村団体名：村づくり研究会>

真狩村の村民有志でつくる「村づくり研究会」では、全国有数の産地として知られる食用ゆり



根のPRを兼ねて、村を訪れる人々を特産品の花ユリで歓迎しようと、真狩村と留寿都村を結ぶ通称「フラワーロード」で、毎年、ユリの植え付けを行っています。

今年は6月8日（日）に、村内のボランティアなど総勢80名ほどの人たちが集まり、ユリ

の球根約3万個を植え付け、爽やかな汗を流しました。

ユリの植え付けは1994年から研究会が主体となって毎年実施しており、村を代表する夏の風物詩として定着しています。「フラワーロード」は、8月上旬から黄色い花が咲き始め、8月中旬には見頃を迎えますので、是非お立ち寄りください。



【場 所】フラワーロード（真狩村字光（道道岩内洞爺線沿い））

【関係SNS（Facebook）】<https://www.facebook.com/makkarimuraken/>

【お知らせ】

◎令和7年度「手づくり郷土（ふるさと）賞」を募集中！（国土交通省北海道開発局）

この賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を国土交通大臣が表彰するものです。

今年度で40回目の開催となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」について、只今募集を行っていますので、地域づくりに取り組む活動団体、地方公共団体のみなさまのご応募をお待ちしています。

これまで、「わが村は美しく－北海道」運動で表彰された3団体が「手づくり郷土賞」に選定されています。（H16：黒松内ぶなの森自然学校運営協議会（黒松内町）、H25：NPO法人グラウンドワーク西神楽（旭川市）、R4：特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会（鶴居村））



【募集期間】令和7年6月2日（月）～令和7年8月1日（金）

※応募方法など詳しくは↓こちらをご覧ください

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/k5m5qg00000041z4-att/k5m5qg00000062hx.pdf>

【お問合せ】北海道開発局開発監理部開発調整課（担当：岡村）

TEL：011-709-2311（内線5476）

◎「ディスカバー農山漁村（むら）の宝 AWARD」 第12回選定エントリー募集中！

（農林水産省農村振興局）

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に

向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村の宝」特設ホームページでの活動紹介等を通じて、全国的な情報発信を行います。

「わが村は美しく－北海道」運動の参加団体もこれまでに数多く選定されており、第11回では「北海道幌加内高等学校（幌加内町）」と美国・美しい海づくり協議会/余別・海 HUG くみたい（積丹町）に係わる「北海道積丹町におけるブルーカーボン創出プロジェクト協議会」が選定されています。



【募集期間】 令和7年6月2日（月）～令和7年8月12日（火）

【お問合せ】 農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室

TEL（代表）：03-3502-8111（内線5449）

ダイヤルイン：03-3502-6001

※ 応募方法など詳細は↓こちらよりご確認ください。

【HP】 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250602.html>

【活動支援メニュー】

○令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和7年度（後期）の申請受付を開始する予定です。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【申請受付期間】（後期）令和7年7月～令和8年3月31日まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和7年度 まちづくり推進活動支援事業（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）

公益財団法人 北海道地域活動振興協会では、活力のあるまちづくり活動の振興を図るため、行政とのパートナーシップにより、新しい時代に相応しいネットワークづくりをめざした活動を対象に助成を行っており、現在、令和7年度の支援事業について募集を行っています。

道内で地域活性化に係わる地域活動などを1年以上継続して実施している団体が対象です。

助成対象となる団体や取組などの詳細については、当法人のHPによりご確認ください。

【募集期間】令和7年6月18日～令和7年7月31日まで

【助成額】1件につき25万円を限度とし、助成件数は14団体程度とする。

【HP】 <https://www.fureaizaidan.or.jp/>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極

的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を３ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに３か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：第３四半期（１０月～１２月））

令和７年７月１日 ～ 令和７年８月２０日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

ＴＥＬ ０１１－２０４－５７６６

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご

参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

暑い日が続くようになり、北海道も夏本番となってきました。

夏まつりなどのイベントも各地で予定されており、楽しみにされている方も多いのではないのでしょうか？夏のイベントと聞いて真っ先に思いつくのはビアガーデン（?!）。近頃はビアガーデンのビール価格も高騰し、気軽にグビグビと何杯も飲めなくなってしまう、ゆっくりと味わう飲み物に変わりつつあります・・・。

今年の夏は「わが村」団体さんのイベントに伺い、地域のエネルギーが込められた特産品を買い、その特産品をおつまみに、地域を話題に、ビール価格に惑わされることなく、家飲みを満喫する夏を楽しみたいと思います。

皆さんはどんな夏イベントに参加されるのでしょうか？

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
